

平成26年6月3日

各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会
平成26年度活動内容（概要）について

長期使用住宅部材標準化推進協議会
会長 平田 俊次

長期使用住宅部材標準化推進協議会は本年5月22日の平成26年度定時総会において平成25年度の事業報告と平成26年度の事業計画について決定した。

今回の定時総会は役員の変更時期になっており、会長にはミサワホーム(株)代表取締役専務執行役員 平田俊次氏、副会長には三協立山(株)常務執行役員 賀東隆氏、タカラスタANDARD(株)執行役員 春日忍氏、積水ハウス(株)執行役員 山田寿夫氏が就任した。また監査役にはクリナップ(株)CS推進本部長 大竹重雄氏が就任した。

平成25年度新規正会員としてトクラス(株)、(株)ダイケン、フクビ化学工業(株)の3社が、新規賛助会員として(株)神仲、近畿セラミックス(株)、三州野安(株)、新東(株)、住友林業クレスト(株)、スガツネ工業(株)、(株)長沢製作所、マルスギ(株)、(株)丸惣、(株)ムラコシ精工、若井産業(株)の11社が入会し共に活動する事になった。

以下、その概要を記載する。

1. 平成25年度の事業報告（概要）

(1) 共通部材使用表示事業

「基準書作成要領」「基準書フォーマット」等の基準書関連資料について、文言の整理、表現の統一の改定を行うとともに、「太陽光発電設置用支持瓦」「太陽光発電架台金具支持材（支持瓦）」「シャッターガードレール部材（フィンール無）」「同（フィンール付）」「住宅金属製バルコニー用連結形デッキ材」「住宅用引違いサッシ網戸用戸車」「住宅用樹脂複合サッシ用軟質グレイジングチャンネル」「階段・廊下手すりブラケット」「床下点検口」「可動棚用ダボ」「折戸用センター丁番（内装建具）」「温水洗浄便座（シート形）」の12品目の基準書を承認し登録した。また、会員企業内でのCjKマーク表示状況、取扱い状況、ハウスメーカー採用状況についてアンケート調査を実施した。アンケート調査結果も踏まえ、2014年度版ロードマップを作成した。

CjKマーク利用申請書が吉川化成(株)、中西金属工業(株)、マツ六(株)、(株)鶴弥、丸栄陶業(株)、(株)ニシムラ、新東(株)、三州野安(株)、(株)神仲、(株)丸

惣、マルスギ(株)の11社より申請され、承認された。

(2) 広報事業

平成 25 年度定時総会後の記者会見を開催し、19 社 21 名の出席を頂き、10 紙(誌)、8Web で長住協活動が紹介された。また、平成 26 年度定時総会後の記者発表(ニュースリリース)の諸準備を推進した。ホームページを充実させる改訂を推進し、会員向けのメールマガジンの制作・発行を行った。

(3) 共通化部材選定事業

一般ユーザー向けメンテナンスWEBアンケートを実施し精査後178品目を各専門分科会に提供した。6住宅会社に対し平成24年度有償工事実績調査を行いTOP20の部材の部品・子部品を特定し各専門部会に提供した。

(4) 躯体・外装共通化事業

今年度にサイディングWGを立上げ、窯業系サイディング基準書案を取り纏めた。継続事業であった太陽光発電架台設置用支持瓦(F形棧がわら)は4月に標準化した。太陽光発電架台金具支持材(支持瓦)を標準化し、新規テーマの検討を開始した。

(5) 外装開口部共通化事業

当初の予定通り5部品(住宅用金属製バルコニー用連結形デッキ材・シャッターガイドレール部モヘア2種・住宅用引き違いサッシ網戸用戸車・引き違い窓セット等グレチャンガラス開口溝幅26mm)を標準化した。関連団体である、(一社)日本サッシ協会、日本ロック工業会との連携を図った。

(6) 内装・内部建具共通化事業

収納部材WGは2部品(固定式床下点検口・収納棚ダボ)を標準化した。手すりWGは新規テーマ含む2部材の検討を行い1部品(階段・廊下手すりブラケット)を標準化した。

(7) 設備共通化事業

昨年度よりの5部材(温水洗浄便座・IHクッキングヒーター・ガスコンロ・浴室用天井付換気扇・電気式浴室乾燥機)の標準化を検討したが、関連団体との調整がまとまらず、成果として温水洗浄便座のみ標準化した。新規対象部材の3部材(食器洗い乾燥機・浄水器用水栓・浴室用シャワーホース)の検討に入いった。

2. 平成26年度事業計画（概要）

(1) 共通部材使用表示事業

- ・CjK マーク利用状況調査票の回収と報告
- ・CjK 部材の具体的な採用への働きかけと状況調査
- ・使用表示関連様式の改定と整備
- ・長住協ホームページへの表示関連コンテンツ作成及び啓発活動

(2) 広報事業

- ・平成26年度定時総会後の記者発表（ニュースリリース）の実施
- ・平成27年度定時総会後の記者発表に向けた諸準備
- ・協議会活動のPR

(3) 共通化部材選定事業

- ・成26年度版「住宅会社ASマン困りごとアンケート」企画、実施
- ・過去調査・アンケートの新たな分析を行い対象部材の情報提供

(4) 躯体・外装共通化事業

- ・継続事業となるサイディング部材の基準化を早期に纏め、標準化
- ・サイディングWGの次回テーマを選定し26年度中に基準の纏め
- ・新規テーマの太陽光発電架台金具支持材（スレート）の標準化の検討

(5) 外装開口部共通化事業

- ・新規テーマ玄関ドアセット扉厚の基準寸法化の検討及び新規テーマの設定
- ・関連団体との連携を継続し、啓発活動を活性化

(6) 内装・内部建具共通化事業

- ・内部折戸WGを新たに立ち上げ、共通項目を探り標準化を検討
- ・収納WG・内部建具WGは継続テーマを早期に標準化し新規テーマを検討

(7) 設備共通化事業

- ・継続テーマ2件、新規テーマ3件の早期標準化を最優先事項として推進
- ・会員住宅会社と共に長期持ち越し案件の早期標準化

以上